

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。

講座名 講座コード	イタリア語セミナー(a) 095001A	担当者	ドルネッティ フィリッポ Dornetti ,Filippo	木曜日
サブタイトル	映画から学ぶイタリア語			
対象レベル	以下のいずれかに該当する方々 ・当講座当該語学科の上級修了レベル、または同等の語学力の方 ・スピーキング、リスニングの力をさらに伸ばしたい方や、上級レベルのイタリア語会話力を維持しようと思っている方			
講座の内容	イタリア映画の作品を見ながら、口語的表現の学習を中心に行います。ネオレアリズモなどの古典名作のみならず、最新の作品も含めて、コメディ、ミステリー、人間ドラマなど、さまざまなジャンルのイタリアの映画を教材として使います。正確に聴き取るための語彙力と聴解力をグレードアップしながら、生きたイタリア語表現を学習して、会話力を向上させることを目指します。リスニング力を高め、語彙を学ぶと同時に、日常のさまざまな場面で使われる身近な表現を楽しみながら学びます。			
講座の進め方 ・到達目標	授業では、ビデオ教材の視聴と内容把握の訓練を行なった後、語彙、表現を確認し、新しい語彙と表現を使って会話練習を行ないます。実用的なコミュニケーションに必要な文法と表現を、段階を追いながら学びます。ペアーワーク、グループワークやスキット作りなど、生徒が参加して作り上げる練習を行いますので、積極的に授業に参加する事が大事です。 到達目標:ビデオ教材を使用し、特にリスニング力と会話力のステップアップを図ります。			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用言語	<input type="checkbox"/> 全て日本語 <input type="checkbox"/> 全てイタリア語 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語とイタリア語の併用(説明は日本語で行います。)			
使用予定教材、配付資料、参考書・辞書、勉強の留意点、受講者へのメッセージなど	1)教材に関しては、講師配付資料を使用する予定です(第一回目の授業から配付)。 2)扱うテーマは受講者の関心にも合わせて選択する予定です。			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。

講座名 講座コード	イタリア語セミナー(b) 095002A		担当者	マッジャ フェデリカ Maggia, Federica	金曜日
サブタイトル	ITALIA: Lingua-Costume-Attualità (イタリア:言葉・風習・時事問題)				
対象レベル	<p>以下のいずれかに該当する方々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当講座当該語学科の上級修了レベルまたは同等の語学力の方</li> <li>・ヨーロッパ言語共通参照枠組み(CEFR)のA2レベル以上の方:</li> </ul> <p>具体的には次のような方です。</p> <p>「ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に应付することができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。」(『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 訳・編:吉島茂・大橋理枝(他), Common European Framework of Reference for Languages : learning, teaching, assessment』, 朝日出版、2004年、25ページより)</p>				
講座の内容	<p>この講座は、すでに学んだものを異なる角度から学び直し、しっかりと定着させることで、イタリア語の運用能力をさらに向上させ、イタリア文化の理解を一層深めることを目的としています。教科書のほか、雑誌記事やビデオを使い、上級レベルの語学能力の獲得を目指します。</p>				
講座の進め方 ・到達目標	<p>授業では、CD/ビデオ教材の視聴と内容把握の訓練(リスニング力の強化)あるいはテキスト読解と内容把握の訓練(読解力の強化)を行なった後、ボキャブラリーや文の構造などを確認し(語彙、文法力の強化)、最後に内容についてのディスカッションを行ないます(会話力の強化)。また、作文(ディスカッションについてのコメント、扱ったテーマについての自身の意見など)や練習問題を課することで、書く能力の向上にも力を入れます。</p>				
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション				
使用言語	<input type="checkbox"/> 全て日本語 <input checked="" type="checkbox"/> 全てイタリア語 <input type="checkbox"/> 日本語とイタリア語の併用				
使用予定教材、 配付資料、参考書・辞書、勉強の留意点、受講者へのメッセージなど	<p>1)教材に関しては、講師配付資料を使用する予定です。(第1回目の授業で配付予定です。)</p> <p>2)扱うテーマは受講生の関心にも合わせて選択する予定です。</p>				